サービスマニュアル

安全にご使用いただくために

＜対象機種＞

ＢＷＺ・ＢＷＡ・ＢＷＭ
ＴＲＺ・ＴＲＡ・ＴＲＶ

⚠警告

*ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
*お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお読みになり、
万全なご指導をお願いします。
*日頃の点検を怠ると、思わぬ事故や車いすの破損のおそれがあります。

はじめに

この度はオーエックス製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このサービスマニュアルには、お買い上げいただいた製品が十分にその性能･機能を発揮できるように、また、安全にご使用いただけるように、正しい取扱い方法や点検･整備などについて必要な事柄を記載してあります。車いすの取扱いを十分ご存じの方も、この製品独自の装備･取扱いがありますので、必ずご使用前に本書をよくお読みになっていただき、正しく、安全で、快適にご使用ください。
また、お子様が使用される場合は、保護者の方と一緒に本書をお読みいただき、保護者の方の万全なご指導をお願いします。
なお、本書は紛失しないように大切に保管してください。

＊本書を紛失してしまった場合は再発行(有料)いたしますので販売店、または下記までご連絡ください。
＊お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
＊落丁・乱丁がありましたらお取替えいたしますので、下記までご連絡ください。

株式会社 オーエックスエンジニアリング 営業部 お客様ご相談窓口
〒265-0043　千葉市若葉区中田町2186-1
TEL043-228-0777/FAX043-228-3334

＜保証について＞

お買い上げいただきました製品は競技専用車いすとして製造された特殊車いすです。お買い上げ後の保証については、対象となりませんのでご了承ください。また、あなたが使用状態に合わせて日頃の点検、整備を行って、常に最良の状態を保つように心掛けてください。

＜シリアルナンバー表示位置＞

アフターサービスについてのご相談に対し的確な判断､処置をするためシリアルナンバーを正確にご連絡ください｡なお､シリアルナンバーはフレーム後方右車軸側に貼られています。

あなたの車いすのシリアルナンバー

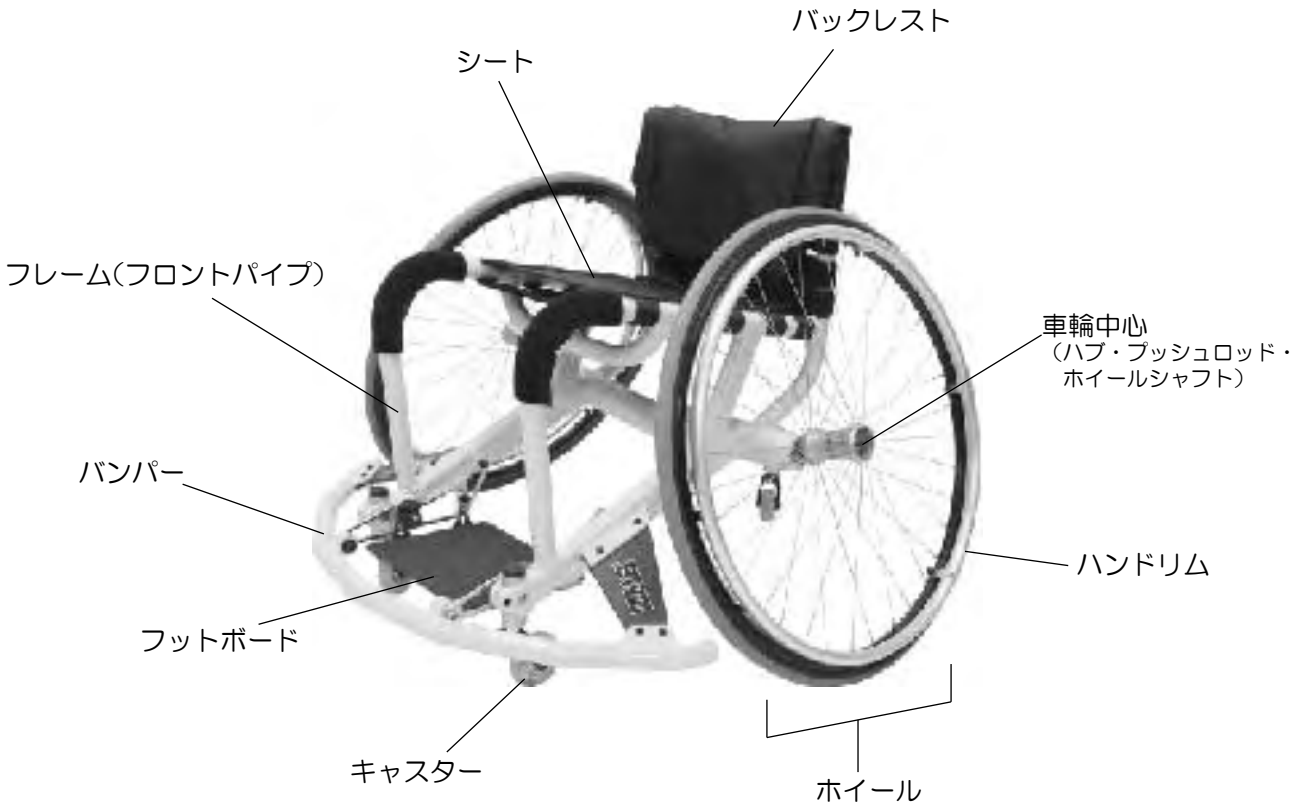
＊仕様変更などにより図や内容が一部実物と異なる場合がありますのでご了承ください。

＜付属品＞

付属品は以下の通りですのでご確認ください。

◎本書　１部

＜各部の名称＞



もくじ

○ はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
シリアルナンバー表示位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
○ もくじ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
○ 安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

1 章 総説
基本的な操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
お手入れについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
保管について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
調整・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
調整可能な箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

2 章 乗車位置
バックレスト及びレザー類の調整･点検
バックレストレザーの張り調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
バックレスト高の調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
シートレザーの取外し方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
シートレザーの取付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
フットボードの調整･点検
フットボードの角度調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
フットボードの高さ調節(BWA/TRA)・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
フットボードの高さ調節(BWM/BWZ/TRZ指定無し) ・・・・・・・・・・17
フットボードの高さ調節(TRV/TRZ指定有り)・・・・・・・・・・・・・・17

座高の調整･点検
車軸前後位置及び前座高・後座高の調整(BWA/TRA)・・・・・・・・・・18
後座高の調整(TRV)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

3 章 回転部
ホイール回りの調整･点検
ホイールの取外し方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
ホイールの取付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
ホイールの点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
ホイール取付け間隔の点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
ホイール取付け間隔の調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
トー角の点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
トー角の修正 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

キャスターの点検
キャスターホルダーの修正(BWA/TRA)・・・・・・・・・・・・・・・・・24
リア キャスターホルダーの修正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
スペーサー位置の調整(TRZ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
キャスターホイールの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
キャスターの点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
LPCキャスターホイールの点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

その他の点検
タイヤの点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
ホイールの点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
バンパー取付け部の点検(BWA /BWM/ BWZ)・・・・・・・・・・・・・・27

安全上のご注意

＜絵表示について＞

このサービスマニュアルでは、この製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を指しています。

この表示は、増し締め箇所を示しています。
定期的に、緩みがないか点検・増し締めをして下さい。
※工具は付属されていません。

この表示は、注油場所を示しています。
定期的（一か月に一度が目安）に、注油をして下さい。

⚠警告

◎BWZ/BWA/BWMはバスケットボール、TRZ/TRA/TRVはテニスの目的以外に使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。
この製品は、バスケットボール又はテニス競技専用です。補助動力装置を取付けて使用しないでください。

◎壊れたままや異常がある時は使用しない。

事故や転倒などのおそれがあります。
故障や異常を見つけたら、車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。

◎改造･分解しない。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりし、事故や転倒などのおそれがあります。
改造･分解は行わず、整備が必要な時は、販売店にご相談ください。

◎調整作業に不安がある時は調整しない。

部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させて、事故や転倒などのおそれがあります。
不安な時は販売店にご相談ください。

◎不十分な調整状態で使用しない。

身体に無理をかけたり、褥瘡（じょくそう）などになるおそれがあります。
身体の状態に合わせて、正しい乗車姿勢が保て、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整します。

◎ホイールの装着後、固定を確認せずに使用しない。（P. 21）

ホイールが外れて事故や転倒などのおそれがあります。
必ず乗る前に点検してください。

◎乗車時はプッシュロッドには触れない。（P. 21）

ホイールが外れて事故や転倒などのおそれがあります。

◎高温になる場所（炎天下の自動車内、暖房器具の近くなど）に置かない。

高温になり、火災ややけどなどのおそれがあります。また、パンクなど部品を著しく傷めるおそれがあります。

◎車いすに巻き込まれやすい服装は避ける。

ホイールやキャスターなどに巻き込まれ、事故や転倒などのおそれがあります。

◎他の乗り物につかまりながらの移動はしない。

車いすを損傷させたり転倒、転落などのおそれがあります。

◎車いすを踏み台にしたり、車いすの上で立ち上がったりしない。

バランスを崩し転倒、転落のおそれがあります。

⚠警告

◎フットボードに乗ったり、立ったりしない。
転落や転倒などのおそれがあります。また車いすが損傷します。

◎掃除する時などに、タイヤやハンドリムにワックスなどの油分を付けない。
ワックスなどの油分が付くと、タイヤやハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突、転倒などのおそれがあります。
ワックスなどの油分が付いた時には、十分脱脂してください。

◎雨などでハンドリムが水に濡れた時は、スピードを出さない。
ハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や衝突、転倒などのおそれがあります。
水分が付いた時には、乾いた布で十分拭き取ってください。

◎下り坂などではスピードを出さない。
衝突や転倒などの事故をおこしやすく危険です。
ハンドリムとの摩擦によるやけどに注意し、ハンドリムでスピード調整してください。

◎急坂などの自操は避ける。
事故や転倒のおそれがあります。
介助してもらいましょう。

◎コート以外では使用しない。
事故や転倒などのおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。この製品は平坦地（コート）専用です。一般道や山岳、荒地、砂地、河原、水中、泥地などオフロードでは使用しないでください。

◎段差の飛び降りなど、乱暴･無理な取扱いをしない。
車いすを損傷させ、事故や転倒などのおそれがあります。

◎未使用時の車いすに乳幼児を近づけない。
車いすを倒して下敷きになったり、けがのおそれがあります。

◎運動機能が低下するもの（アルコールや風邪薬など）を摂取した時は自操しない。
事故や転倒、転落などのおそれがあります。

◎ウイリー（キャスター上げ）は十分熟練するまで一人でやらない。
転倒のおそれがあります。

◎ハンドリム以外の回転部（タイヤ、スポークなど）に手を触れない。
手を巻き込まれるおそれがあります。

◎エスカレーターは使用しない。
事故や転倒、転落のおそれがあります。

◎点検、整備をする。
点検、整備を怠ると、故障や事故などのおそれがあります。
使用前、使用後の点検、整備および使用頻度に応じた各部の点検、整備をしてください。

⚠警告

◎車いすをこぎだす時、また走行中は周囲に気を付ける。
子供などが車いすの回転部、可動部に手などをはさまれるおそれがあります。

◎身体の状態に適したクッションを使用して車いすに着座する。
褥瘡（じょくそう）になるおそれがあります。

◎上半身の不安定な方はベルトなどを使用する。
転落のおそれがあります。
オプションのベルト類などを使用して身体を安定させましょう。

◎移乗時・停車時・未使用時は、車いすが動かないように固定する。
車いすが動き出して落下、転落、転倒などのおそれがあります。
少しの間の停車、駐車でも必ず車いすが動かないように固定してください。

◎本製品に乗ったままで、介助者に持ち上げさせない。
車いすが損傷し、介助者や使用者がバランスを崩し転倒、転落のおそれがあります。
持ち上げられることに耐えられる車いすに乗り換えてください。

⚠注意

◎素足で使用しない。
けがのおそれがあります。
靴下をはき、底のある履き物をはいて使用してください。

◎屋外に放置しない。
気象変化や気温変化により、車いすが著しく劣化します。
必ず屋内に保管してください。

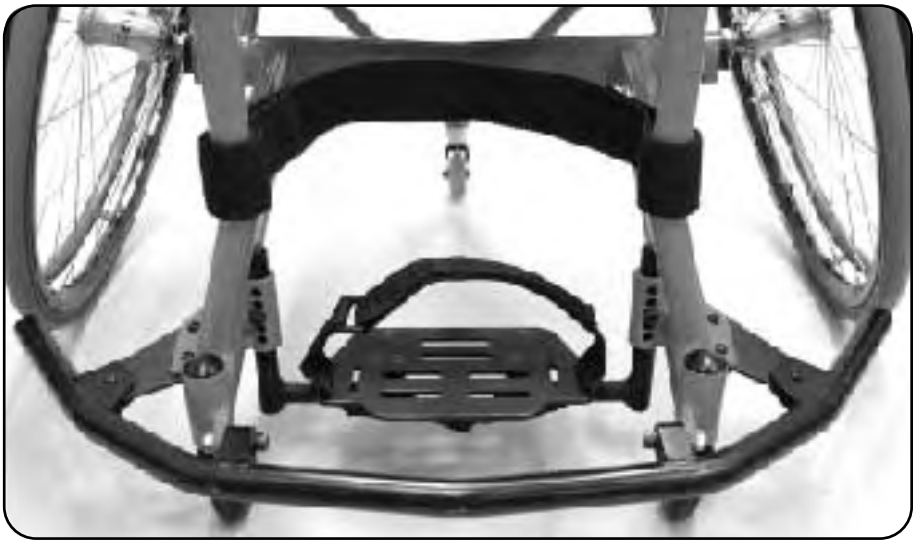
◎面ファスナーは、確実に貼り付ける。
固定力が低下して、調整状態が変わります。

◎面ファスナーに付着した糸くずなどは取除く。
固定力が低下して、調整状態が変わります。

1章
総説

この章では、基本的な操作方法とお手入れや保管方法及び調整･点検について説明しています。

- 基本的な操作方法
- お手入れについて
- 保管について
- 調整･点検について
- 調整可能な箇所



＜基本的な操作方法＞

〇車いすのシート部にクッションを敷き、クッションに着座してください。
〇足はフットボードに乗せてください。
〇走行する時は、ハンドリムを手動で回転させて走行します。
〇停止する時は、ハンドリムの回転を手で止めて停止します。

＜お手入れについて＞

〇こまめに清掃することをお勧めします。こまめに清掃することにより、車いすの異常を早期に発見することにもつながります。

＜保管について＞

〇必ず屋内で保管してください。
〇長期間ご使用にならない場合は、タイヤを接地させないようにして、タイヤの空気を抜いて保管してください。
〇再びご使用の際は点検・整備をしましょう。

＜調整･点検について＞

〇この車いすは、各所に調整機構がありますので、あなたの状態やプレースタイルなどに合わせて各所の調整を行ってください。
〇調整作業上、ホイールを外した方が作業しやすい場合がありますので、作業に合わせてホイールの脱着を行ってください。
〇最適な姿勢で使用できるように各部の調整を行って下さい。(2章:乗車位置、３章:回転部参照)
〇調整作業に不安がある場合は、ご自分では調整しないで、販売店に依頼してください。
〇この車いすは競技用車いすです。使用前に毎回点検を行ってください。
〇点検を怠ると思わぬ事故につながります。

＜調整可能な箇所＞

〇この車いすは､次の箇所に調整機構があります。

BWM/BWZ/TRZ
- □ バックレスト(張り･高さ)
- □ フットボード(角度･高さ)
- □ 車軸(トー角･ホイール取付け間隔)

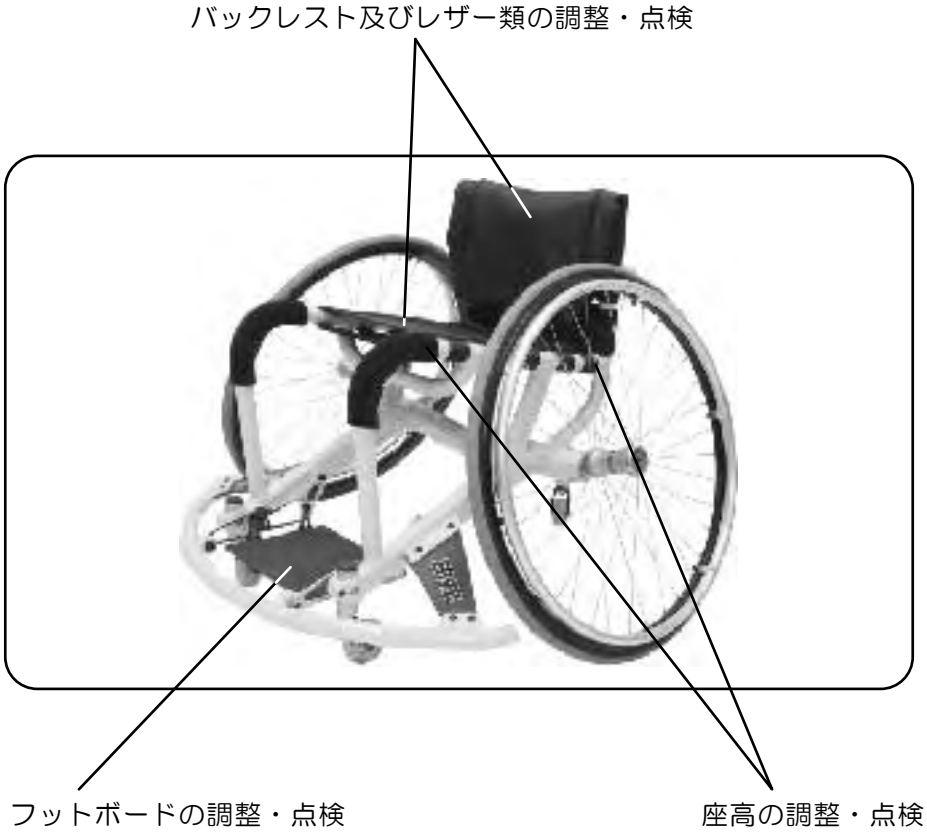
BWA/TRA
- □ バックレスト(張り･角度･高さ)
- □ フットボード(角度･高さ)
- □ 車軸(トー角･ホイール取付け間隔)
- □ 車軸前後位置･前座高･後座高

TRV
- □ バックレスト(張り･高さ)
- □ フットボード(角度･高さ)
- □ 車軸(トー角･ホイール取付け間隔)
- □ 後座高

2章
乗車位置

この章では、乗車位置に関する調整・点検
について説明しています。

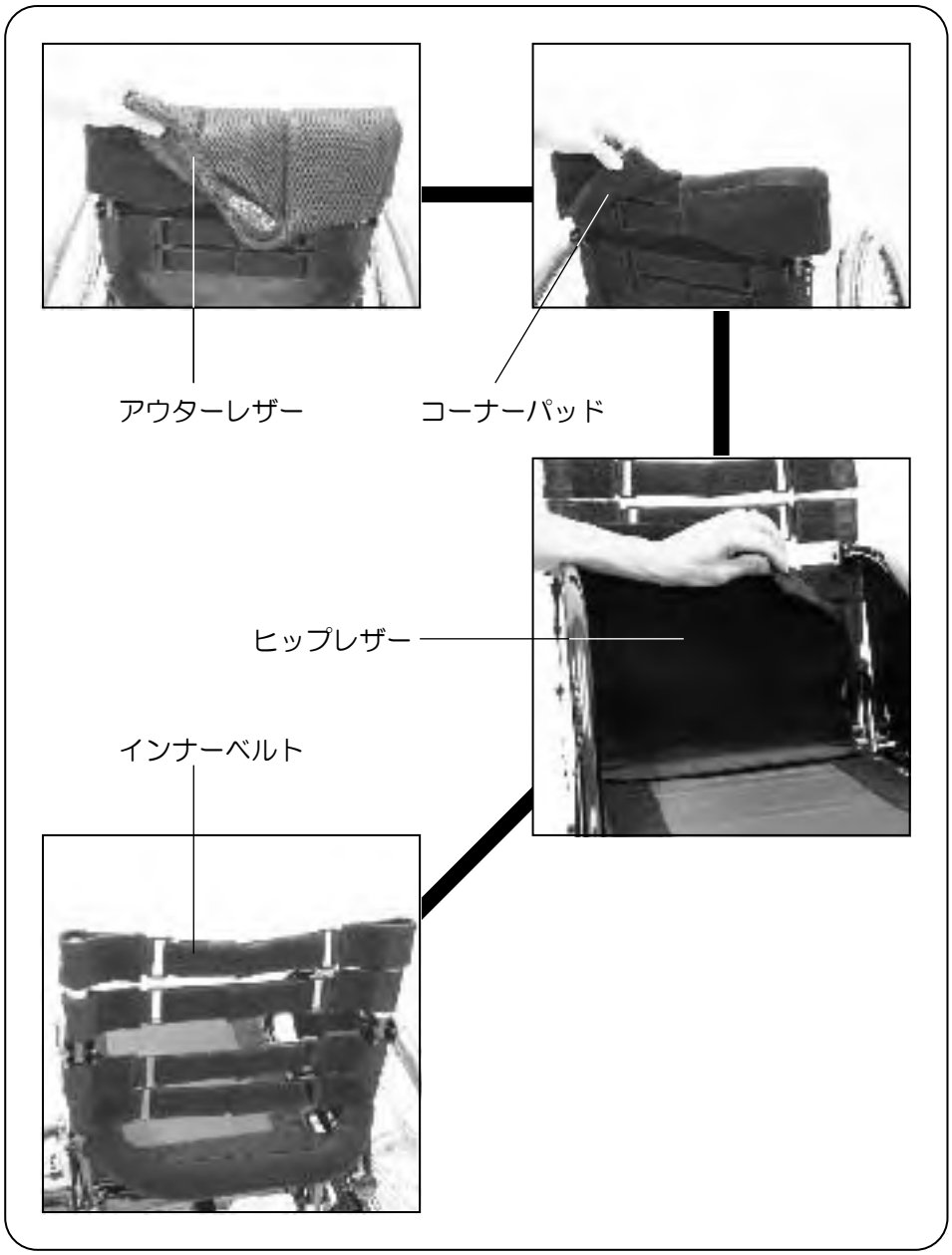
- バックレスト及びレザー類の調整・点検
- フットボードの調整・点検
- 座高の調整・点検



バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレストレザーの張り調整＞【図1-1】

1）アウターレザーを取外す。
2）コーナーパッドを取外す。
3）ヒップレザーを取外す。
4）インナーベルト背面の面ファスナーで上下の各ベルトを調整する。
5）ヒップレザーを取付ける。
6）コーナーパッドを取付ける。
7）アウターレザーを取付ける。



【図1-1】

⚠警告

バックレストレザーを緩めすぎない。
＊バックレストバンパーに背中や腰が当り褥瘡（じょくそう）などができるおそれがあります。

⚠警告

バックレストアウターレザーのスポンジの弾力が無くなってきたら交換する。
＊背中や腰に褥瘡（じょくそう）などができるおそれがあります。

⚠注意

面ファスナーは、確実に貼り付ける。
＊固定力が低下し、調整状態が変わります。

⚠注意

面ファスナーに付着した糸くずなどは取除く。
＊固定力が低下し、調整状態が変わります。

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレスト高の調節＞【図1-2】【図1-3】

1）バックレストレザーを取外す。(P.12)
2）車いすを後方に倒し、アジャストパイプを地面と水平にする。
3）左右の①ネジ(②ボルト)、ナット、ワッシャーを取外す。
※アジャストパイプをフレームバックレスト内に、落とさないように注意してください。
4）アジャストパイプをスライドさせ、最適な穴位置に合わせる。
5）左右を同じ位置にする。
6）左右のアジャストパイプを①ネジ(②ボルト)、ナット、ワッシャーで締付ける。
7）バックレストレザーを取付ける。(P.12)

⚠注意

左右のアジャストパイプの高さは必ず同じ位置にする。
＊車いすが破損するおそれがあります。

①ネジ、ナット締付けトルク	6N･m(0.6kg f ･m)
②ボルト、ナット締付けトルク	6N･m(0.6kg f ･m)

【図1-2】

【図1-3】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜シートレザーの取外し方＞【図1-4】【図1-5】【図1-6】

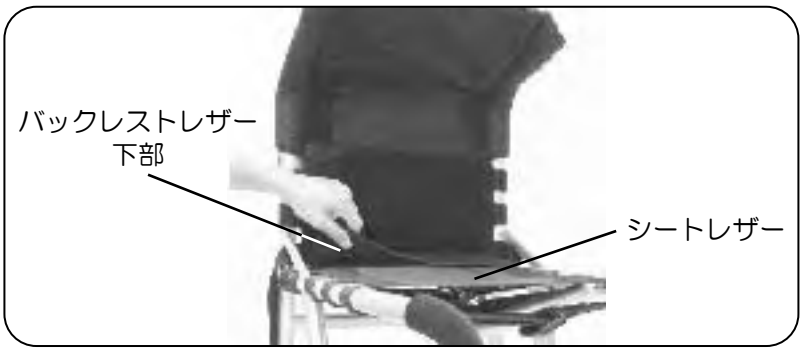
1）車いすを裏返し、シートレザー裏側の全てのベルトをバックルから抜き取る。
2）BWZとTRZはバックレストレザー下部の面ファスナーを、BWAとTRAはヒップレザーの面ファスナーをシートレザーから取外す。
3）BWAとTRAのみ【図1-6】に示す全てのネジを緩める。
4）シートレザーを取外す。

＜シートレザーの取付け方＞【図1-4】【図1-5】【図1-6】

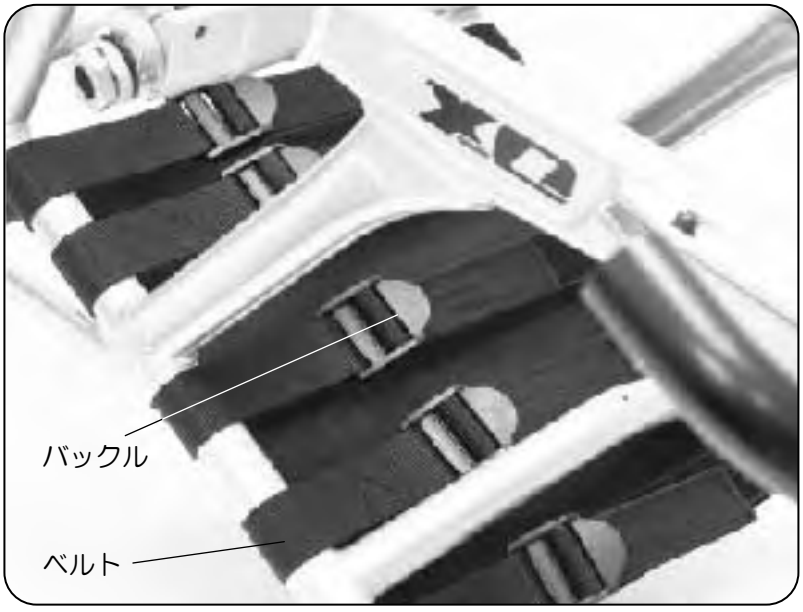
1）シートレザーをフレームの上に載せ全てのバックルにベルトを通す。BWAとTRAのみ【図1-6】に示すシートレールにベルトを通す。
2）ベルトを張る。BWAとTRAのみ【図1-6】に示す全てのネジを締める。
3）ヒップレザーの面ファスナーをシートレザーに取付ける。

⚠注意

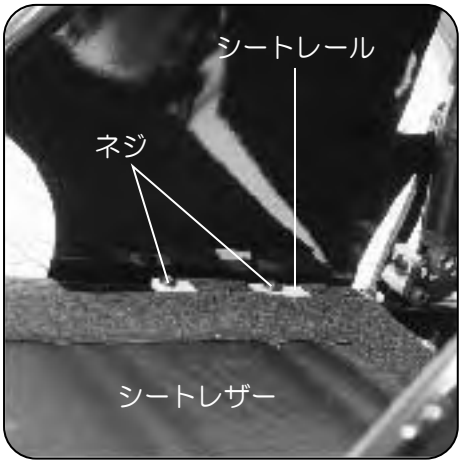
シートレザーがたるんできたら、ベルトを張る。
＊身体がフレームなどに接触して褥瘡（じょくそう）などになるおそれがあります。
＊調整後は必ず乗車した状態で座面裏側がフレームなどに接触していないか確認してください。



【図1-4】



【図1-5】



【図1-6】

フットボードの調整・点検

＜フットボードの角度調整＞【図1-7】【図1-8】

1）左右の①②ボルトを緩める。
2）フットボードを最適な角度に合わせる。
※ハイフィクスの左右位置は動かさないでください。
3）左右の①②ボルトを締める。

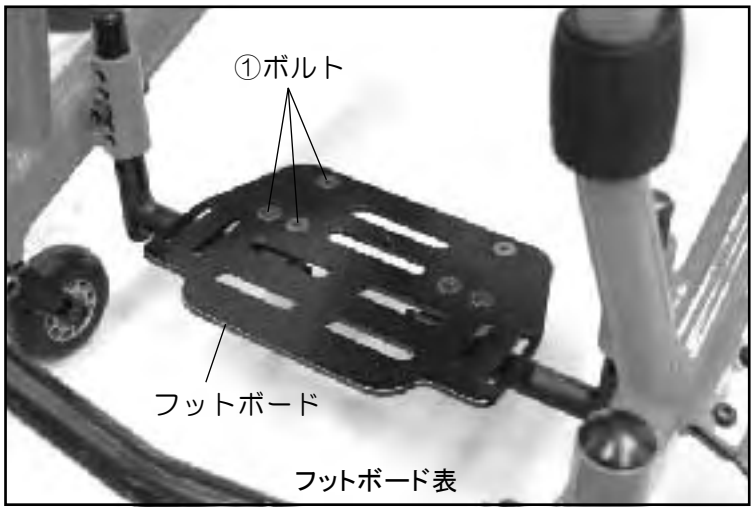
⚠警告

フットボードに乗ったり、立ったりしない。
＊転落や転倒などのおそれがあります。また、車いすが破損します。

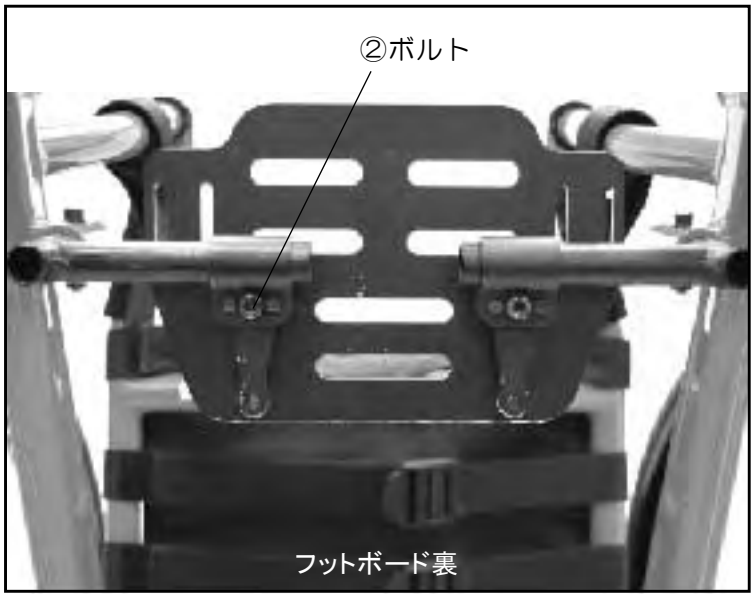
①②ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kgｆ･m）

⚠警告

麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整する。
＊調整後は必ず、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が、接触していないことを確認してください。



【図1-7】



【図1-8】

フットボードの調整・点検

＜フットボードの高さ調節（BWA/TRA）＞【図1-9】【図1-10】

1）左右の①ボルト、ナット、ワッシャー、カラー、スペーサーを取外す。
2）最適な高さでロッドバーの調節穴を、ステーの長穴とフロントパイプの調節穴に合わせる。
3）①ボルトをワッシャー、カラー、スペーサーを使用して左右のステーとフロントパイプ調節穴に通し、ナットで固定する。

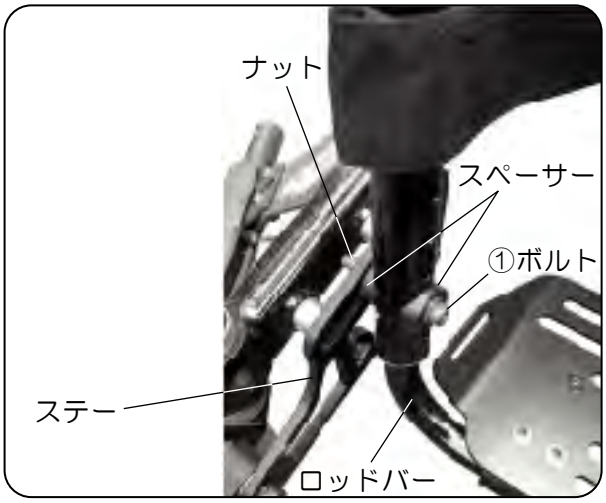
⚠警告

フットボードに乗ったり、立ったりしない。
＊転落や転倒などのおそれがあります。また、車いすが破損します。

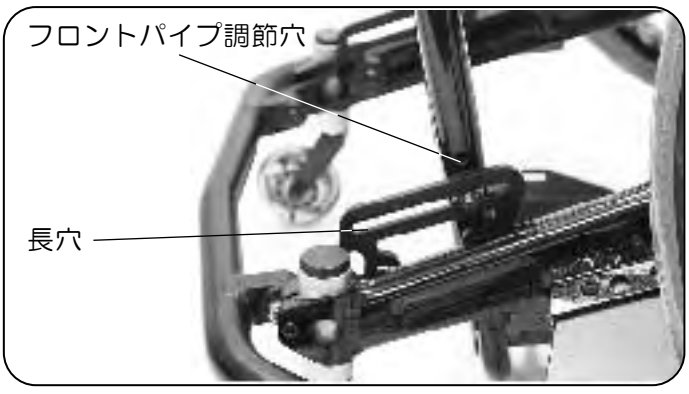
⚠警告

麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整する。
＊調整後は必ず、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が、接触していないことを確認してください。

①ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kg f ･m）



【図1-9】



【図1-10】

フットボードの調整・点検

＜フットボードの高さ調節（BWM/BWZ/TRZ指定無し※）＞【図1-11】

1）左右の①ボルト、ナットを取外す。
2）最適な高さでロッドバーとフレームの調節穴を合わせる。
3）左右の①ボルト、ナットで固定する。

＜フットボードの高さ調節（TRV/TRZ指定有り※）＞【図1-12】

1）左右の②ボルト、ナット、カラーを取外す。
2）最適な高さでロッドバーの調節穴を、フロントパイプの固定穴に合わせる。
3）②ボルト、ナット、カラーを使用してフロントパイプの固定穴とロッドバーの調節穴に通し、締付けて固定する。

※フロントパイプ幅指定。

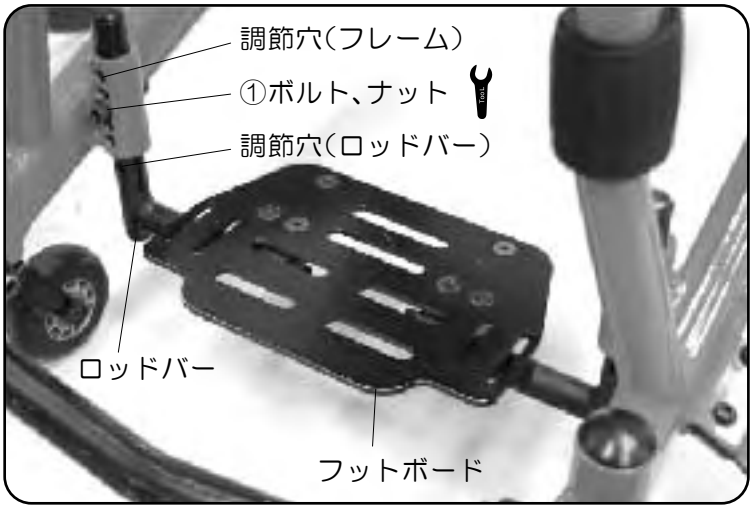
①ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kgｆ･m）
②ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kgｆ･m）

⚠警告

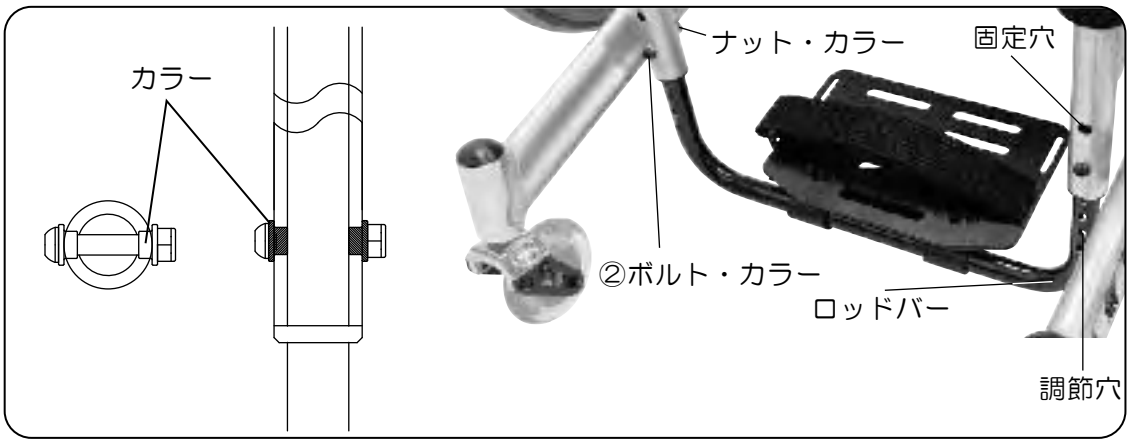
フットボードに乗ったり、立ったりしない。
＊転落や転倒などのおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠警告

麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整する。
＊調整後は必ず、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が、接触していないことを確認してください。



【図1-11】



【図1-12】

座高の調整・点検

＜車軸前後位置及び前座高･後座高の調整(BWA/TRA)＞

【図1-13】【図1-14】【図1-15】

車軸前後位置及び前座高と後座高の調整は、一緒に行います。

1)左右の③ボルト､ナットを緩める。
2)左右の④ボルトを緩める。
3)左右の⑤ボルト､ナット､ワッシャー､スペーサーを取外す。
4)⑤ボルト､ナット､ワッシャー､スペーサーで最適な車軸前後位置になるように､左右のシート前後調節穴をシートステーと固定(仮止め)する。
5)左右の⑥ボルト､ナット､ワッシャー､スペーサーを取外す。
6)最適な後座高になるように､左右のシートステーの調節穴を⑥ボルト､ナット､ワッシャー､スペーサーで固定する。
7)左右の③ボルト､ナット､ワッシャー､カラー､スペーサーを取外す。
8)最適な前座高になるように､左右のバンパーステーの長穴､フロントパイプの調節穴及びロッドバーの調節穴を合わせる。
9)③ボルト､ナット､ワッシャー､カラー､スペーサーを使用して､左右のステーの長穴､フロントパイプの調節穴及びロッドバーの調節穴を固定する。
10)左右の④ボルトを締める。
11)左右の⑤ボルト､ナットを締める。
12)必要に応じてP.15の＜フットボードの角度調整＞とP.16の＜フットボードの高さ調節＞を行う。

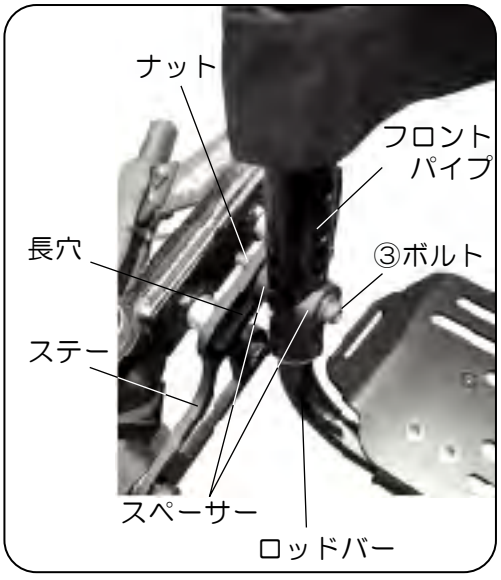
⚠警告

フットボードに乗ったり、立ったりしない。
＊転落や転倒などのおそれがあります。また、車いすが破損します。

⚠警告

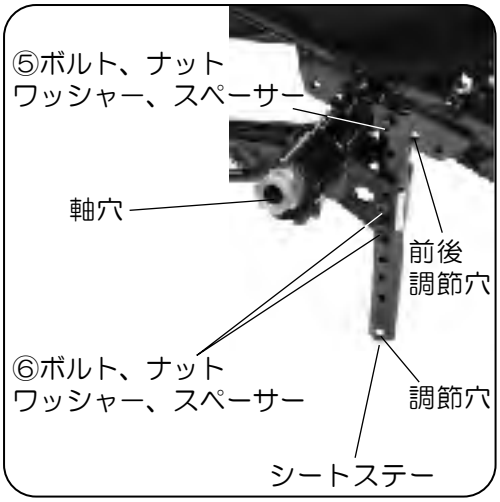
麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整する。
＊調整後は必ず、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が、接触していないことを確認してください。

③④⑤⑥ボルト締付けトルク　10N･m(1.0kg f ･m)



【図1-13】

【図1-14】



【図1-15】

座高の調節・点検

＜後座高の調節（TRV）＞【図1-16】

1）左右のプレートの①ボルト、ナット、ワッシャー、カラーを取外す。

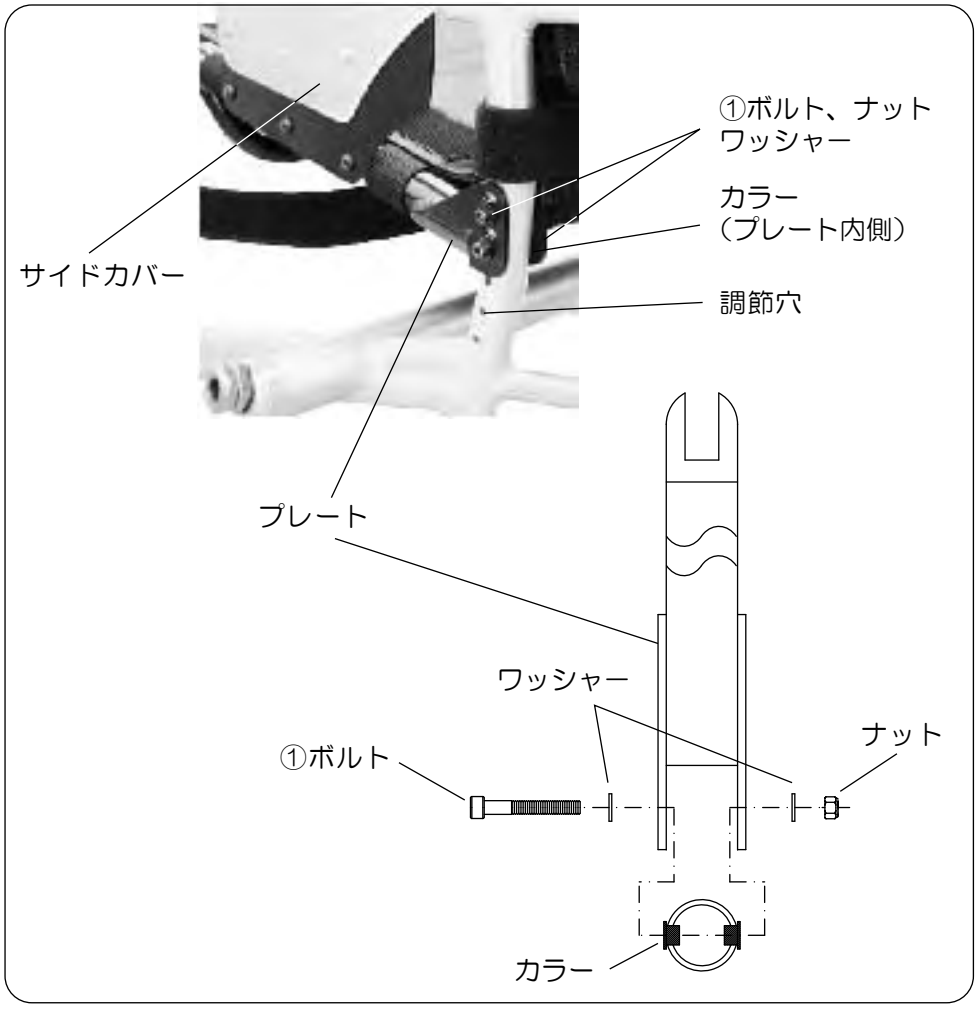
2）最適な後座高になるように、左右のプレートと調節穴を合わせ、①ボルト、ナット、ワッシャー、カラーで固定する。

①ボルト締付けトルク　10N･m（1.0kg f ･m）

⚠警告

麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整する。

＊調整後は必ず、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が、接触していないことを確認してください。



【図1-16】

3章
回転部

この章では、回転部に関する調整・点検について説明しています。

- ホイール周りの調整・点検
- キャスターの調整・点検
- その他の調整・点検

ホイール回りの調整・点検

＜ホイールの取外し方＞【図2-1】

ハブ（ホイール中央部）の中心部のプッシュロッドを押しながらホイールを手前に引く。

＜ホイールの取付け方＞【図2-1】

ハブ（ホイール中央部）の中心部のプッシュロッドを押しながら軸穴にホイールシャフトを挿し込む。
確実に軸穴に挿し込まれていることを確認する。

＜ホイールの点検＞【図2-1】

○ホイール装着時に最後までプッシュロッドが戻らないなどの異常が無いか確認する。
　＊異常がありましたら、車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。
○タイヤの減り具合、空気圧を見る。
　＊タイヤのカーカス(布地)が少しでも見えたら交換してください。
　＊タイヤの空気圧はP.27を参照してください。

⚠警告

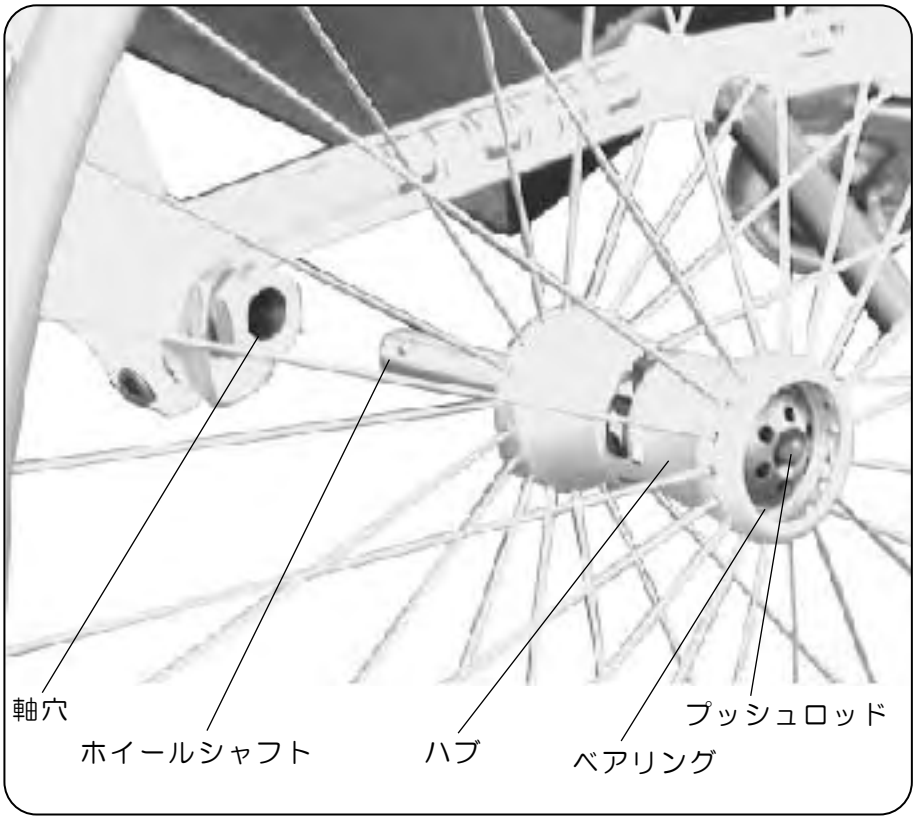
乗車中にプッシュロッドに触れない。
＊乗車中にホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。

⚠警告

ホイールが確実に固定されていることを確認する。
＊確実に固定されていないとホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。
＊プッシュロッドが戻らないなどの異常がある場合は車いすの使用をやめ販売店にご相談ください。

⚠注意

軸穴は精密加工されているので、傷を付けないよう注意する。
＊傷が付くと「ホイールシャフトが入らない」「入りにくくなった」などの原因になり危険です。
＊ホイールシャフトが入らない、入りにくいなどの異常がある場合は販売店にご相談ください。



【図2-1】

ホイール回りの調整・点検

＜ホイール取付け間隔の点検＞【図2-2】

○「A」の間隔が左右同じか確認する。
○「A」の間隔が左右ともに１０㎜以内か確認する。

＜ホイール取付け間隔の調整＞【図2-2】

１)アジャストボルトを工具で押さえてアジャストナットを緩める。
２)「A」の間隔が１０㎜以内の範囲で、アジャストボルトを回して調整する。
３)アジャストボルトを工具で押さえてアジャストナットを締める。
４)左右同様に調整し、「A」の間隔を左右同じにする。

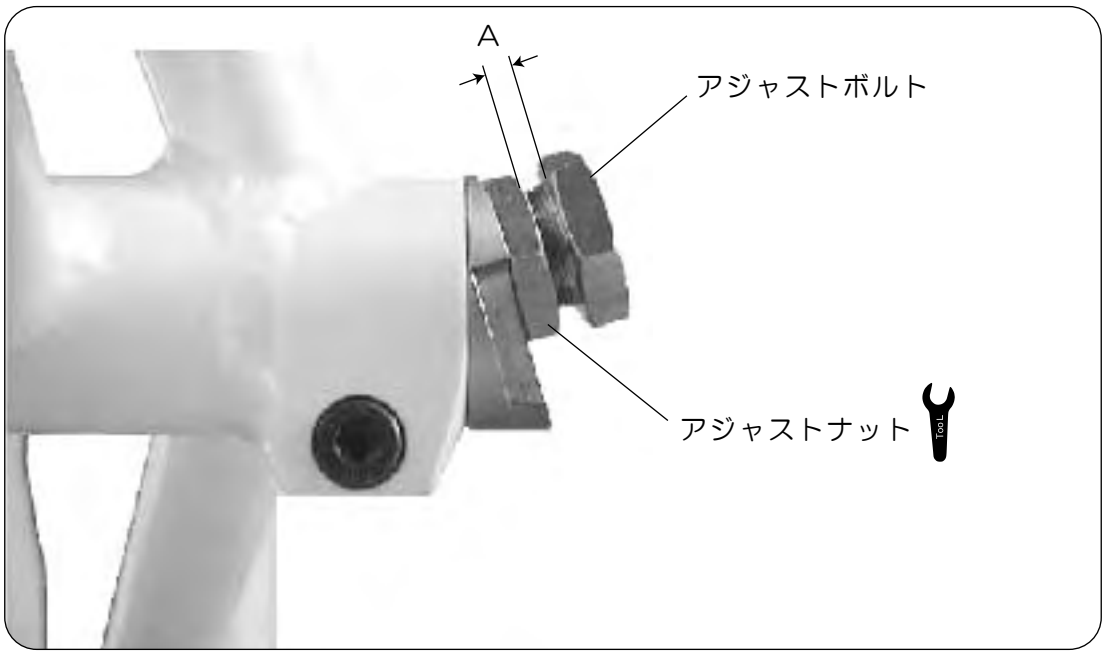
アジャストナット締付けトルク　15N･m(1.5kgｆ･m)

⚠警告

アジャストボルトとナットの間隔は必ず１０㎜以内にする。
＊乗車中にホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。

⚠注意

ホイール取付け間隔は、使用前と使用後には必ず点検してください。
＊乗車中にホイールが外れ事故や転倒などのおそれがあります。



【図2-2】

ホイール回りの調整・点検

＜トー角の点検＞【図2-4】【図2-5】

ホイールを固定し、【図２-５】のように「A」と「B」を測定します。
「A」と「B」の寸法が同一でない場合は修正してください。

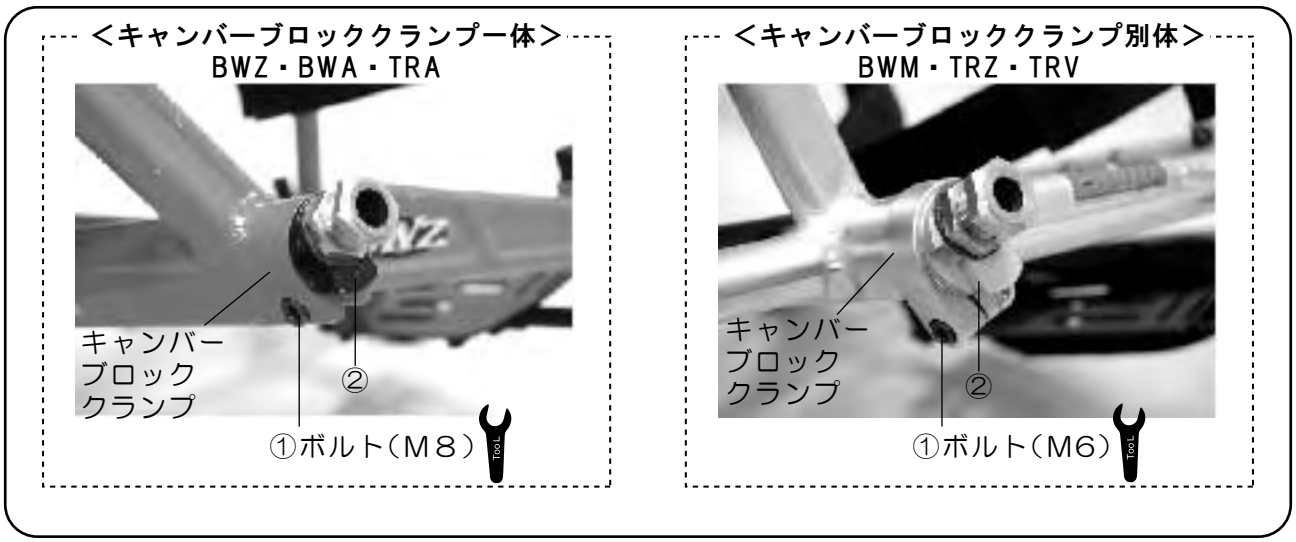
⚠注意

キャンバーブロッククランプと②の間に隙間を作らない。
＊②が抜け、事故や転倒、転落のおそれがあります。

＜トー角の修正＞【図2-3】【図2-4】【図2-5】

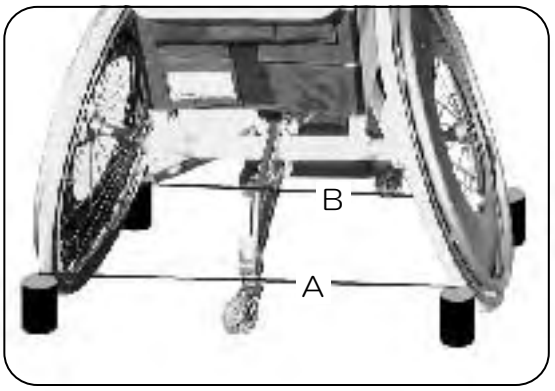
１)左右の①ボルトを緩める。
２)スパナで②を回し、【図２-４】または【図２-５】のような方法でトー角を０度(「A」=「B」)にする。
３)キャンバーブロッククランプに、②が最後まで入っていることを確認する。
４)左右の①ボルトを締付ける。

①ボルト(M8)締付けトルク　20N･m(2.0kgｆ･m)
①ボルト(M6)締付けトルク　15N･m(1.5kgｆ･m)



【図2-3】

【図2-4】



【図2-5】

キャスターの点検

＜キャスターホルダーの修正（BWA/TRA）＞【図2-6】

1）①ボルトを緩める。
2）キャスターホルダーをスライドさせ最適な位置に合わせる。
3）①ボルトを締める。
4）左右同様にする。

＜リアキャスターホルダーの修正＞【図2-6】

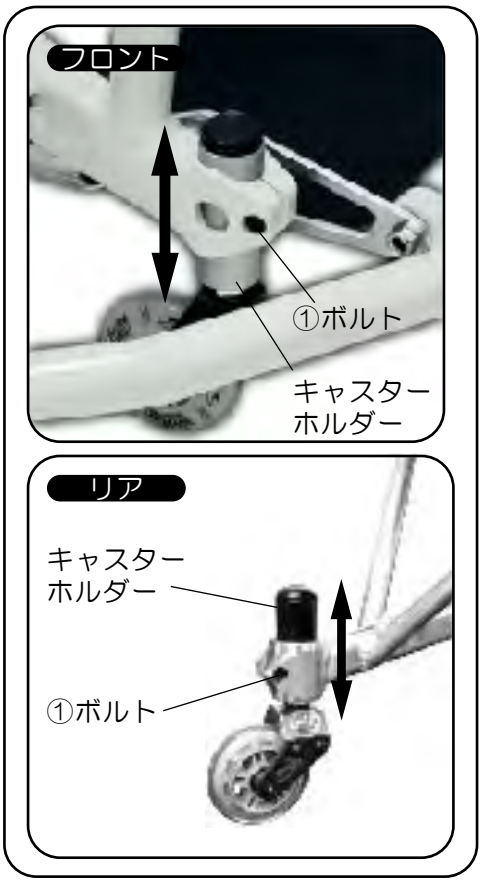
上記＜キャスターホルダーの修正＞同様に修正します。

＜スペーサー位置の調整（TRZ）＞【図2-7】

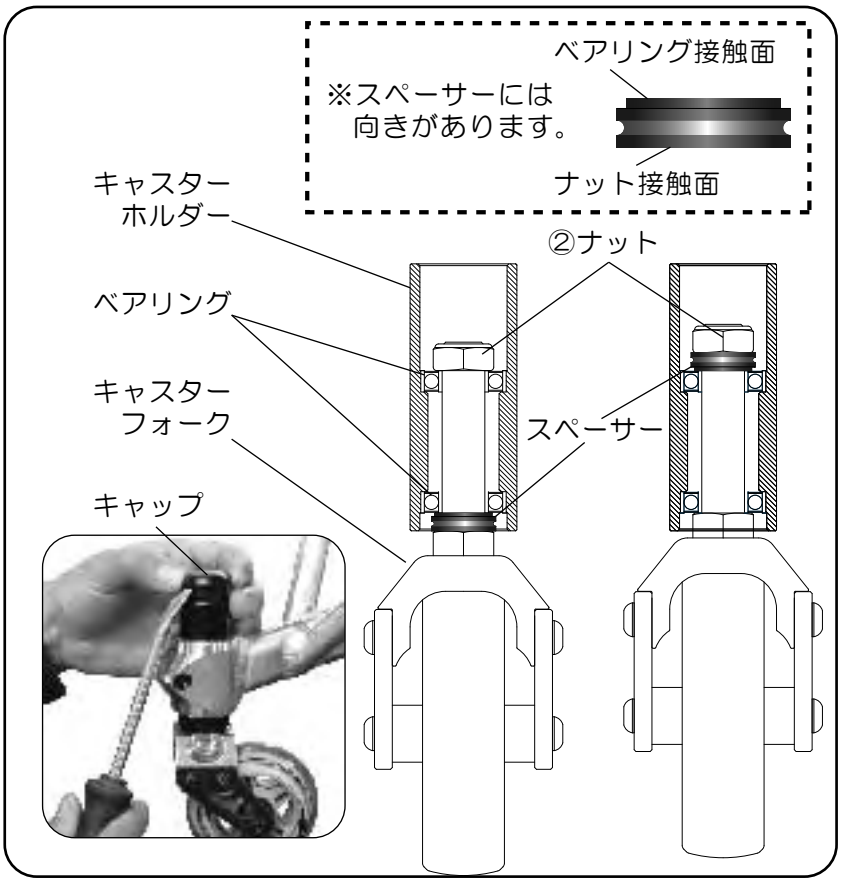
上記＜リアキャスターホルダーの修正＞で修正しきれない場合に行います。

1）キャップを外す。
2）②ナットを外す。
3）キャスターフォークを引き抜く。
4）スペーサーを上下最適な位置に変更して、キャスターフォークを取付ける。
5）②ナットを締める。※キャスターフォークがスムーズに回り、上下にガタが出ない程度に締付けてください。
6）キャップを取付ける。

①ボルト締付けトルク　15N･m（1.5kgｆ･m）



【図2-6】



【図2-7】

キャスターの点検

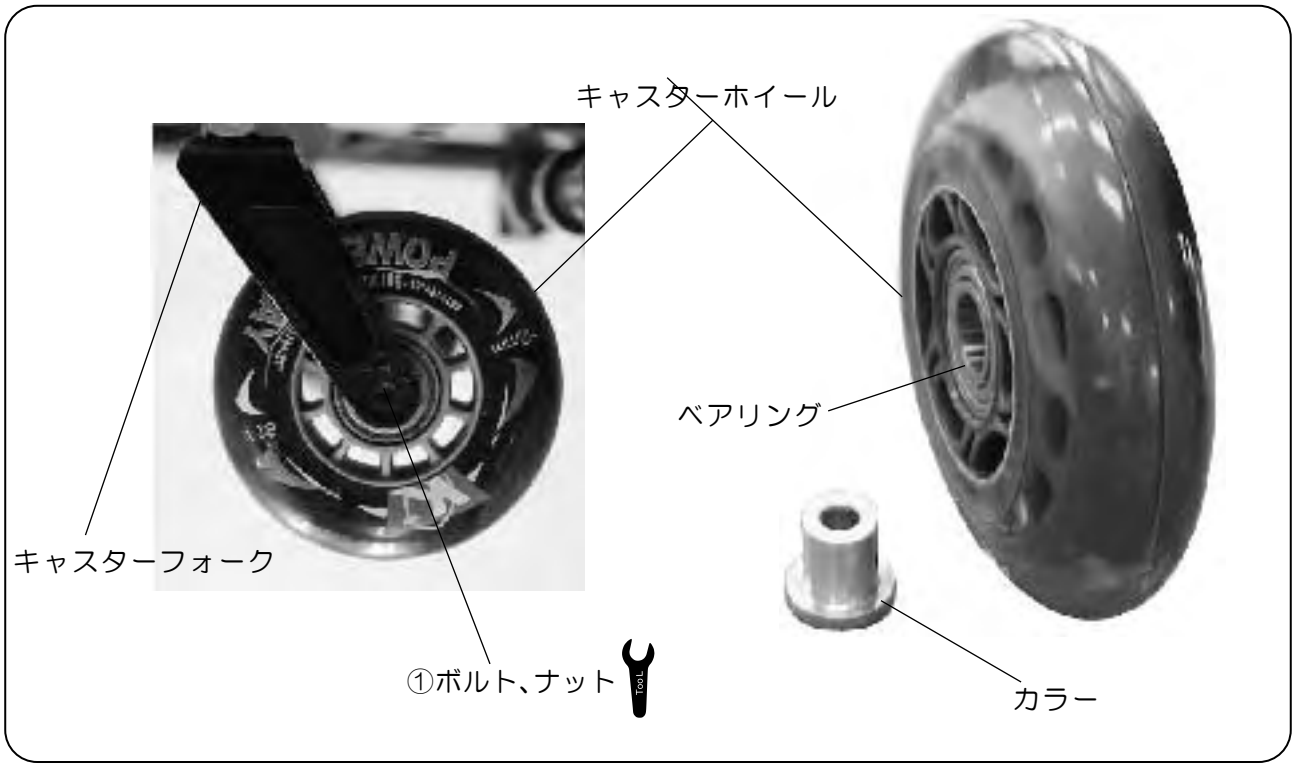
＜キャスターホイールの交換＞【図2-8】

１)①ボルト、ナットを取外す。
２)キャスターホイールを外しカラーも取外す。
３)新しいキャスターホイールにカラーを組付ける。
４)キャスターフォークのシャフト穴にキャスターホイールを合わせる。
５)①ボルト、ナットで締付ける。

＜キャスターの点検＞【図2-8】

○キャスターフォークを回転させ、異音、ガタ、回転不良が無いか点検してください。
○キャスターホイールに亀裂、損傷、限度を超えた磨耗が無いか点検してください。
○キャスターホイールを回転させ、異音、ガタ、回転不良が無いか点検してください。
※上記のような症状が見られましたら、交換してください。
※ベアリング周りは定期的に清掃してください。回りが悪くなったら交換してください。

①ボルト、ナット締付けトルク　10N･m(1.0kg f ･m)



【図2-8】

キャスターの点検

＜LPCキャスターホイールの点検＞【図2-9】

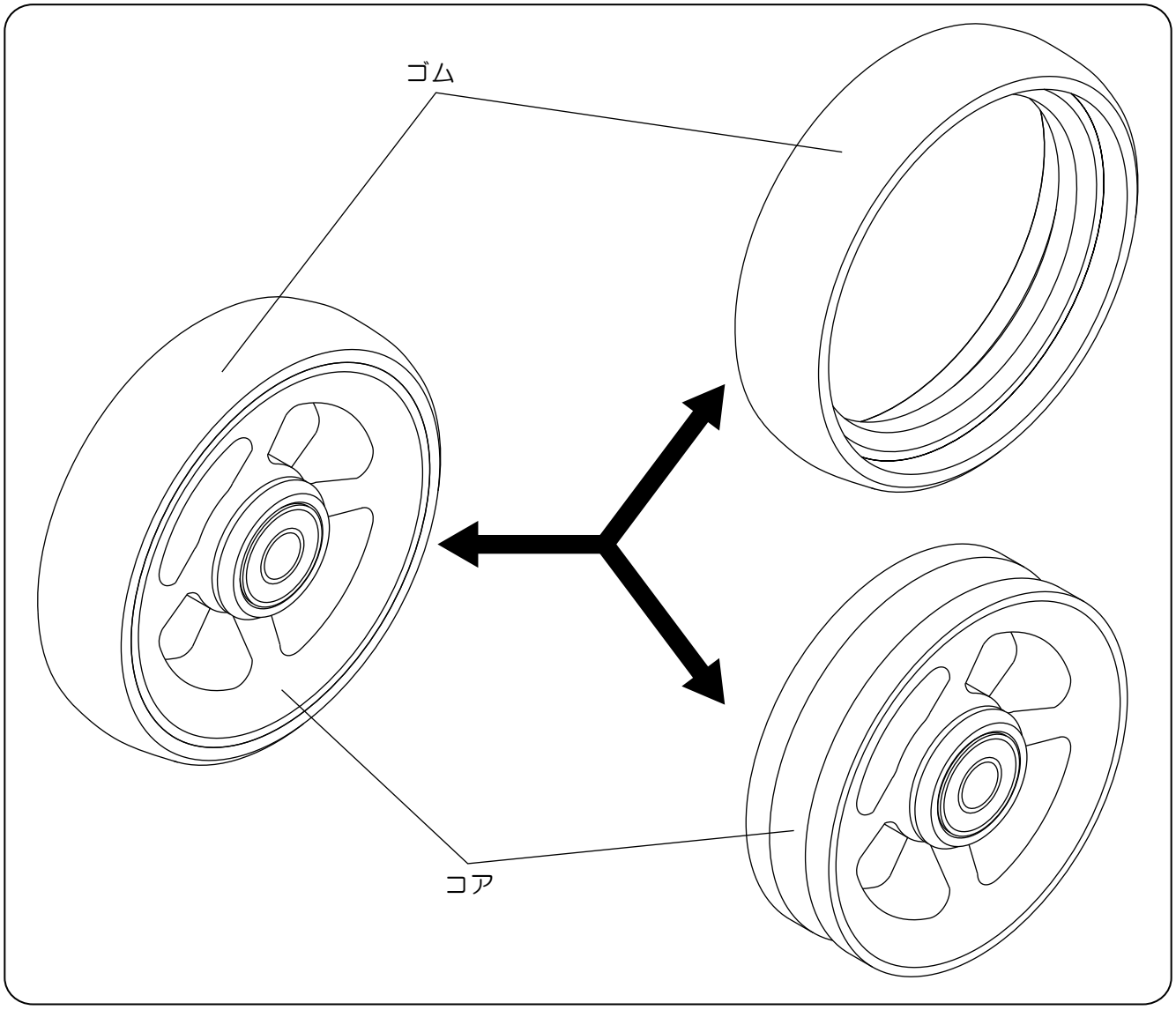
「LPC」キャスターホイールのゴムが、減ってきたり深い亀裂が入った時は、お買い求めの販売店でゴム交換を行ってください。ご自分で交換される際は、キャスターフォークからキャスターホイールを取外します。次に、軍手など厚みのある手袋を使用して、古いゴムを取外し、新しいゴムを伸ばしながらコアにはめ込みます。（ある程度の力が必要です）

⚠警告

「LPC」キャスターホイールのゴム交換の際、絶対に潤滑剤などの油分は使用しない。
＊ゴムが外れ事故のおそれがあります。

⚠注意

「LPC」キャスターホイールにワックスなどの油分をつけない。
＊ゴムのひび割れなどの原因となります。

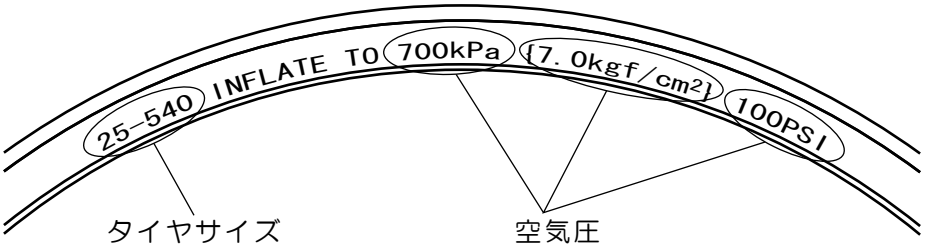


【図2-9】

その他の点検

＜タイヤの点検＞

1.亀裂、損傷、異物、溝の深さ、異常な磨耗などを点検します。
2.タイヤに異常がある場合はお買い求めの販売店で点検・整備を受けてください。
3.空気圧は適切か点検してください。



※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。
（図の数値は表示の例）
※使用する空気入れのメーター表記にしたがいタイヤに表記された空気圧の指示に合わせてください。

⚠注意

○パンクしたまま使用しないでください。
○空気圧が少ないと車いすの操作が重くなり、パンクしやすくなります。
○空気圧が少なすぎると、リムからタイヤが外れるおそれがあります。
○空気圧が多すぎると気圧や温度の変化でパンクするおそれがあります。
○左右の空気圧は同一にしてください。

＜ホイールの点検＞

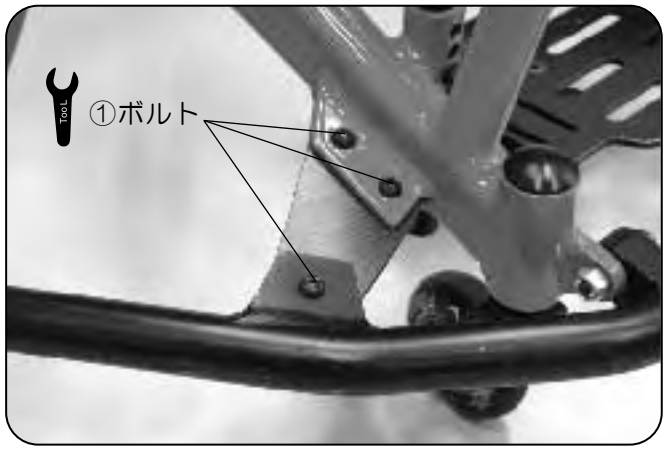
1.ホイールやハンドリムの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油、増し締めを行ってください。
2.ホイールシャフトの動きに異常が感じられたら、点検を行い必要に応じて清掃、注油を行ってください。

＜バンパー取付け部の点検（BWA/BWM/BWZ）＞

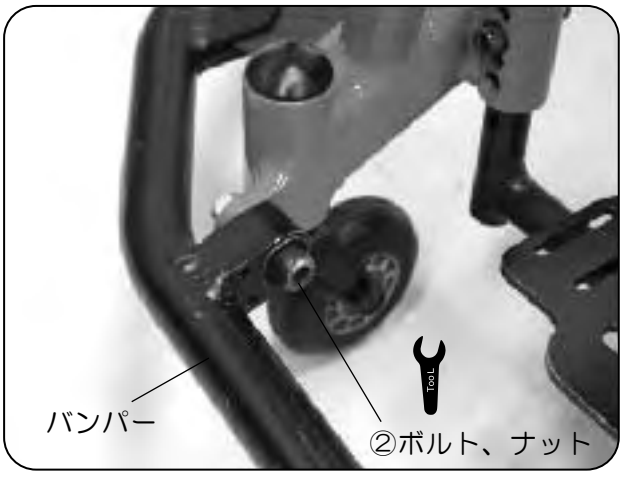
【図2-10】【図2-11】

下図に示す箇所を左右とも定期的に増し締めしてください。

①ボルト締付けトルク　10N・m（1.0kgｆ・m）
②ボルト締付けトルク　15N・m（1.5kgｆ・m）



【図2-10】



【図2-11】

お客様ご相談窓口のご案内

《お客様ご相談窓口》

お買い上げいただきました当社の製品やサービスについて、ご質問・ご意見・ご要望などがございましたらご遠慮なくお寄せください。また、各種オプション・アクセサリーのお問い合わせもご遠慮なくお寄せください。

株式会社 オーエックスエンジニアリング
営業部　お客様ご相談窓口
TEL 043-228-0777 FAX 043-228-3334

《アフターサービスの実施》

お買い上げいただきました販売店が点検、修理をはじめ、アフターサービスのご相談などをお受けいたします。

《パンクでお急ぎの場合には》

お近くの自転車販売店に修理を依頼してください。

⚠ 不法廃棄はしないでください。

販売元
株式会社オーエックスエンジニアリング
〒265-0043 千葉市若葉区中田町2186-1
URL　www.oxgroup.co.jp

BW/TR取扱説明書2011年12月5版
©OX ENGINEERING